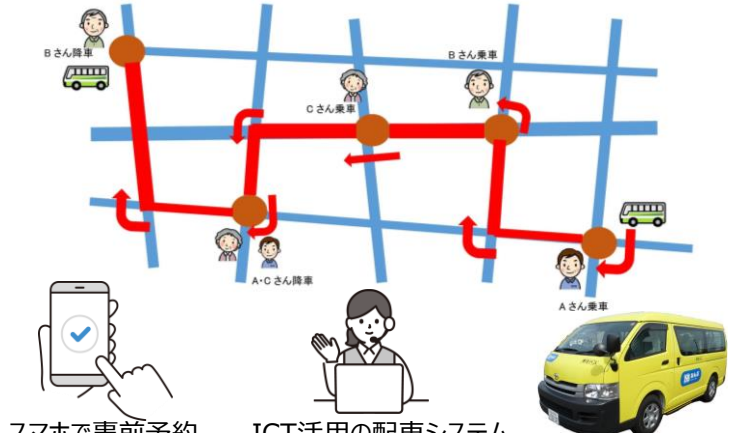


令和 7 年度【 AIを活用した公共交通サービスによる持続可能な地域づくり実現プロジェクト 】

申請者	宮崎県日向市					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	178,500千円 (50,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- AIオンデマンド交通を導入し、「移動したい人」が、「行きたい時」に、「行きたい場所」に移動できるような利便性の高い公共交通システムを構築し、子育て世帯や来訪者など、新たな需要を掘り起こし、利用者増加につなげ、公共交通の持続的な運営を可能とする。 - 市民が「住み続けたいまち」づくりに取り組み、新しい人の流れで交流とにぎわいがあるまちづくりを進め「人口減少の抑制」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 利用率が低迷している市街地の市民バスを、M a a S アプリ等を活用したAIオンデマンドバスに転換し、利用者の要求に応じた配車を行うことで、収支率の悪化を防ぎつつ、市民や来訪者の移動利便性を向上させ、住み続けたいまちづくりに取り組む。 【ソフト事業経費】 ○AIオンデマンドバス実証運行準備事業 29,600千円 関係者と各種調整、運行・予約システムの構築など、実証運行実現に向けて準備を行う。 ○AIオンデマンドバス実証運行事業 20,000千円 市街地路線のエリアにAIオンデマンドバスの実証運行を行う。 ○AIオンデマンドバス通信整備事業 400千円 実証運行に必要な通信端末の整備を行う。					 スマホで事前予約 ICT活用の配車システム	
地域の多様な 主体の参画	観光協会、学校、社会福祉協議会等と連携し、各組織から意見を吸い上げ、運行内容へ反映し、地域公共交通の利便性の向上を目指す。具体的には、観光客等の来訪者の二次交通の充実、バス通学に適した環境の整備、高齢者の移動支援など、地域の多様な主体と連携し、利便性の高い地域公共交通を構築する。					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①日向市の人口 (▲1,703人) ②AIオンデマンド交通利用者数 (+ 40,500人) ③AIオンデマンド交通アプリ予約率 (+ 60%) ④AIオンデマンドバスの市外在住者の利用者数 (+ 2,000人)